

データ連携基盤 利用ガイド

加西市のデータ連携基盤の特徴

CIVILIOS（シビリオス）

データ連携基盤として「CIVILIOS（シビリオス・開発：(株)電通総研）」を採用。

「CIVILIOS」は、内閣府のスマートシティリファレンスアーキテクチャに準拠し、**パーソナルデータ、オープンデータ双方の管理が可能**。

個人認証を行うことでユーザごとにパーソナライズに情報を管理できるほか、**KPI分析のためのダッシュボード**も備えています。



かさいポータル

KASAI CITY

CIVILIOS

by 電通総研



市LINEで簡単ユーザー登録

加西市公式LINEから、**マイナンバーカードを使った本人確認**を行い、データ連携基盤の登録ボタンを押せばユーザー登録が完了。

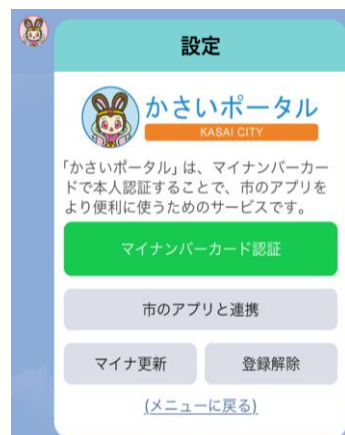
煩わしいメールアドレスやパスワードの入力が不要なため、**利用ユーザーが急増中！**

（2025年4月現在 約3800人）



LINE 友だち追加

QRコードから
友達追加してね



広がるポイント交換

地域通貨「**ねっぴ〜Pay**」のポイントをデータ連携基盤に接続したアプリ間で交換できる機能を実装。

地域通貨は市内**285店舗**で利用でき、年間決済額は約4.7億円、利用者は約15,500人と、高齢者層を含む**市民の約3割が利用**。

ポイント連携APIを活用すれば、新規アプリを短期間で利用者に広げることができます。

加西市
ねっぴ〜Pay



開発コストの低減

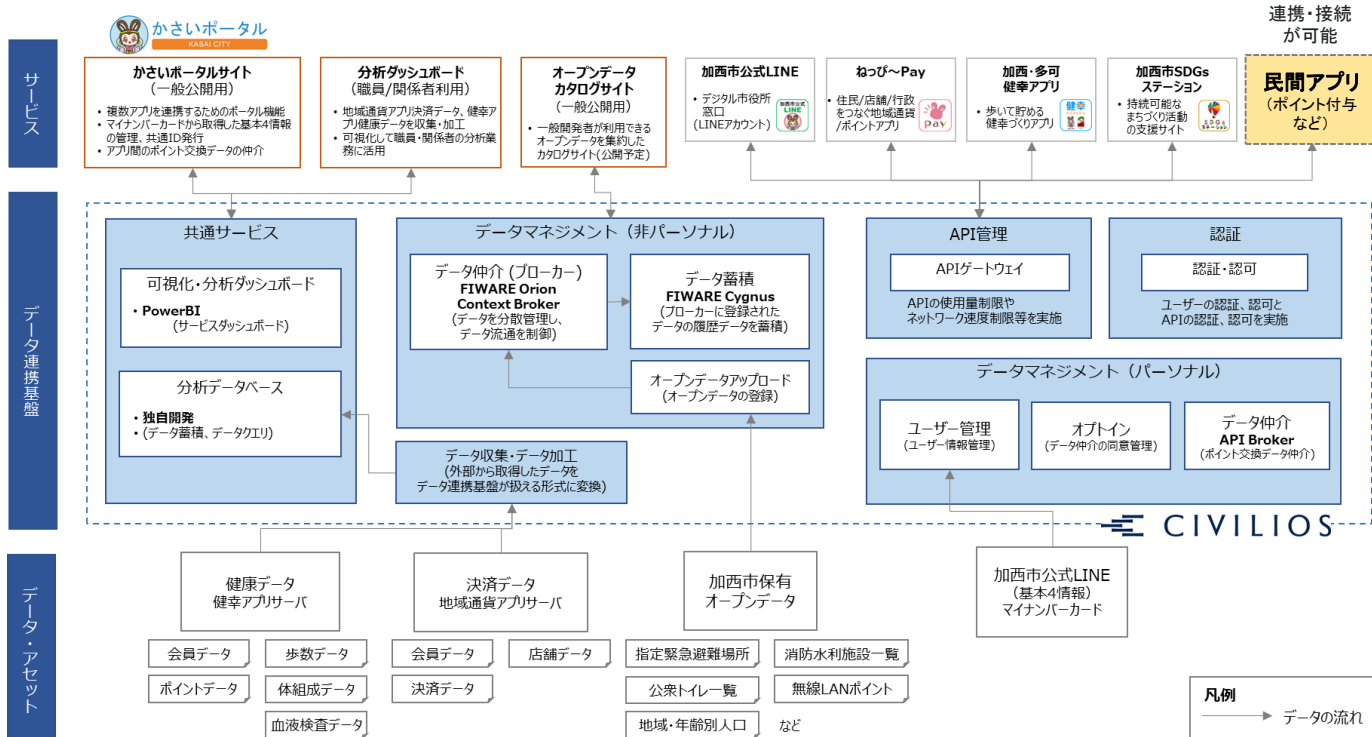
接続の認証は、OIDC（OpenID Connect）仕様に則った認証機能を準備。データ連携基盤側の認証サーバに認証を行う形を取っているため、**新規アプリ側での認証サーバ構築は不要**。

低コストでアプリ連携ができます。



データ連携基盤の構成概要

加西市データ連携基盤の構成概要は、以下のとおりです。



その他、技術的な特徴

ユーザー認証・ID連携

OpenID Connect (OIDC) 仕様に則った認証機能を構築しているため、加西市公式LINEを通じてマイナカードから取得した個人情報を基盤内で管理し、基盤が発行した共通IDを各アプリやサービスと連携しています。そのためユーザーは各サービスからのシングルサインオン (SSO) が可能となります。

FIWARE対応

加西市のデータ連携基盤では、オープンデータの連携基盤として、デジタル庁推奨モジュールであるFIWAREに対応しています。

※FI (Future Internet) WARE (SOFTWARE) の略で、自治体や企業の業種を超えたデータ利活用やサービス連携を促すためのソフトウェア群

API連携

加西市のデータ連携基盤と連携・接続するためのAPIが準備されています。

認証/認可や情報登録/検索/取得のほか、マイナカードの基本情報の取得/更新/削除、またポイントを利用するサービス・アプリが利用するポイント仲介のAPI、オープンデータAPIがあります。
(2024年10月現在)

データ連携基盤を利用するには
お問い合わせが必要です！
ぜひご連絡いただけると嬉しいです！

加西市デジタル施策



お電話でのお問い合わせ
0790-42-8703
対応時間：午前8:30～午後5:15
(土日祝日 年末年始を除く)
メールでのお問い合わせ
joho@city.kasai.lg.jp